

わかば

ワカバ会

60 号

東京都立三田高等学校
同 窓 会
社団法人 ワカバ会

〒108-0073 港区三田1-4-46

電話 (03)3451-0227

FAX (03)3452-4590

E-mail:

t-mita@wakaba-kai.org

http:

//www.wakaba-kai.org/

時間
午前10時～午後4時
休日
土曜・日曜・祝祭日

Colors of 365 days #6「落葉の頃」より
吉田卓司 (7-4)

定年退職後、日常生活で感じた「色」をテーマに、毎日1枚ずつ撮影された
365枚の写真の中から、秋を感じる4枚を抜粋させていただきました。

目次

会長あいさつ	2	総会報告	13
校長あいさつ	2	委員会報告	13
先生方の近況	3	決算・予算	14
先輩、お元気ですか	4	追悼	15
私の近況	6	OB会連絡先	15
ワカバの輪	8	ニューイヤークンサートの おしらせ	16
支部連絡先	8	事務局だより	16
オセンチ山	9	編集後記	16
ワカバ会行事に参加して	10		
学校だより	11		
情報ひろば	12		
これからのワカバ会行事	12		

ホームカミングデーの皆様、ぜひ総会へ！

来年度総会のホームカミングデーにあたるのは、昭和12年(第六10回生)、
昭和22年(第六20回生、21回生)、昭和32年(9回生)、昭和42年(19回生)、昭和52年(29回生)、
昭和62年(39回生)、平成9年(49回生)の各3月に卒業された方々です。

※第六20回生は、前回もホームカミングでしたが、入学が21回生と同年(昭和17年)であり、22年ご卒業の方
もいらっしゃるの、来年度もホームカミングとさせていただきます。

時を超えて

ワカバ会会長

笠原 俊也

(15-4)



今年8月、国際天文学連合(IAU)において太陽系の9惑星の一つ冥王星が惑星から外され矮惑星に降格されたという報道が世界中を駆けめぐり話題になったことはご記憶にあると思います。

9惑星の太陽からの位置関係の覚え方は誰もが小学校で習った「水・金・地・火・木・土・天・海・冥」という語呂のいいフレーズは大人になっても忘れずにすぐに口に出てくる数少ないものでしたので、報道に接し驚き戸惑いを感じた方も多かったと思います。

このような宇宙の普遍の定義と変わったことが何十年も経ってから学会の多数決で変更される事態を間近に体験することになったことに大変興味を感じました。

冥王星は太陽から約59億キロメートルも離れた星で、その距離感や時間の感覚は人知の及ぶところではないよう

ですが、翻って、ワカバ会も来る平成20年には創立80周年を迎えることになります。宇宙の無機質な時間や距離とは次元の違うことかもしれませんが、私にはこの80周年という時は、これはこれで偉大な時間の蓄積であることを感じます。

学校が創立されて現在まで輩出してきた2万5000人近い卒業生の方々が母校や恩師、学友に思いを寄せつつ、その交友関係のなかで日々新たに生み出してきた思い出や感傷の総和は無限とも感じられ、その豊穡な広がりがさらに未来に向かって続いていくことを考えると、それは改めて貴重なものと考えられます。ワカバ会も母校や学友への思いを引力として母校の周りを周回する惑星のようなものかもしれません。

我々は、このような思いを共有するワカバ会でありたいと思っています。

なお、今年も会員の皆様はじめ、高校の生徒さん学校関係者多数に軽井沢山荘を利用して頂きありがとうございます。

最後になりましたが、会員の皆様のご健勝と三田高校のご発展をお祈り致します。

いっしょ 明るく

のぞみ 清く

ワカバ会名誉会長
三田 高校 校長

須藤 勝



ワカバ会の皆様に、本誌においてご挨拶するのは初めてのことと思います。本年四月に着任致しました、本校第19代校長の須藤勝でございます。

早大卒の56歳、教科は国語、校長歴は六年目、本校が2校目の若輩者ですがよろしくお願い申し上げます。ワカバ会には、常に本校の教育に温かいご理解、心のこもったご支援・ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。この夏休みには、一学年のホームルーム合宿及び一・二学年の夏季セミナー実施に際し、軽井沢のワカバ山荘をご提供いただき、生徒諸君も有益な時を過ごせました。有り難うございました。

私の教育信条、生徒をどのように育てたいか、ということでご申しますと、好きな言葉がございます。

「こころ 明るく、のぞみ 清く」これは安岡正篤の言葉ですが、私の願いはこれに尽きます。

昨今、いじめや学校不適応など心の問題が社会的にも大きな課題となっており、大人社会に毒されて多くの子ども達の心は曇っており、す。高校生くらいまでは心に一点の曇りもない日々を送って欲しい。そのための真の学びが求められていると思います。

そして、将来の望みは、清いものであつて欲しい。出世するとか、金が儲かるとかではなく、純粹にこの道に進みたい！という、若者にとつて何にも代え難いこの気持ちを大切に。

今の大学生の多くが遊び呆けて、時に婦女暴行などで犯罪者にもなっており、大学に進学することが手段ではなく、目的になってしまっているからです。学んだことが生きる力になっていない現状を憂えます。三田高校は、活発に部活をやり、挨拶が出来、素直な対応が出来る生徒が大半です。この子達を真っ直ぐ育てたい、それが私の思いです。

どうか、皆様のお力添えをよろしくお願い致します。

先生方の近況

(敬称略・順不同)

英語 塩澤 利雄

東京家政大を定年退職して7年目になりいろいろの仕事が片付き、のんびりした生活ができるようになりました。

英語 成島 真澄

九段中等教育学校に異動して、中学生も教えています。

数学 田代 久人

60歳で定年後、5年間嘱託員として都立高に勤務、そしてこの3月でそれも任期満了。「サンデー毎日」のつもりでしたが、今は女子高で週4日非常勤講師をしています。女子高といっても生徒は頭をさわりに来たりして、私を「異性」と認識してくれていないようです。

事務長 吉野 明

元気で何とか過しています。特に決まった仕事はありませんが、ヘボ碁を楽しんでます。気が向けば遠近関係なく旅行をしています。毎週土曜日ボランティアで、小学生・ご年配の方と碁を打っています。

事務 大塩 徳子

同じ町に在住のワカバ会会員と、毎月古典文学を読む会を開催して、楽しく交流しています。現在は、源氏物語の宇治十帖を読んでいます。

地理 佐藤 嘉修

定年退職まで残すところ6年となりました。本年4月、都立文京高校を異動しました。ロウソクの灯が燃え尽きる直前に明るさを増すように、あと6年間は三田にいた頃のように、明るくさわやかな日々を過ごしたいと考えています。

地理 天井 勝海

平成16年3月都立桐ヶ丘高校長を最後に定年退職いたしました。現在は、日本大学商学部勤務しております。

世界史 宮崎 正勝

現在は北海道教育大学に勤務致して居りますが、来年は停年ですので、首都圏での生活になります。自由な立場になりますので、それを楽しみつつ、著述に専念しようと思つて居ります。

保健 猪狩 洋一

都立芸術高校におります。全校で6クラスの小さな学校です。

家庭科 馬飼野 裕子

在職中は、大変お世話になりました。驚く程きれいな学校で、新鮮な毎日を通らせていただいています。ご近所(?)なので、三田の卒業生にも時折出会うことがあり、楽しみです。

音楽 西村 京子

第六高女時代の最終3年間を音楽担当した僅かの年月でしたが、女生徒のみの同期会の集合に今だにお招き戴いて、楽しく過ごした時を思い出して居ります。

音楽 村重 庸子

三田高校にはわずか4年間の在職でしたが、スラインウェイのフルコンが揚村校長やワカバ会の皆様のご尽力で甦ったのが何より嬉しいことでした。

国語 藤田 美恵子

三田高を離れて3年目(江戸川高校3年目)になりました。会報「わかば」を届けていただき身近に感じる事ができ、とても嬉しく思っています。スラインウェイのピアノの音色を又、聞きに行きたいと思っています。

英語 勝又 庸夫

ロバート・バーカーの探偵小説スパンサーシリーズの中に実名で出てくるレストランの数々を訪ねる目的で、ボストンにまた行ってみたいと思つてます。

総会の出欠はがきより転載させていただきます。

リレー対談

「先輩 お元氣ですか」(3)

女性が力量を十分発揮できる社会に

― 自立心育てた第六の教育 ―

宮本美沙子さん(18-U)



だくことはとても有難いことなのだと、皆で話し合ったものです。今の若い方には考えられないでしょう。

渡辺 心理学を学ばれたきっかけは

宮本 学校で勉強できなかったもので、もつと学びたい、もつと知りた

れました。私は23(48)年に旧制の日本女子大学校を卒業して翌年助手に採用されましたが、新制大学卒業の資格が必要になり、助手をしながら新制大学の授業やレポートによる単位を取って29(54)年に新制の日本女子大学を卒業し、31(56)年に大学の専任講師になりました。

◆女子大学は自立を促す

戦時中第六に学び、終戦後日本女子大を卒業して米国に留学、帰国後は同大教授、理事、評議員として、私立女子大学の教育、運営に尽力してきた。現在は日本女子大名誉教授、理事のほか、全国少年補導員協会会長の仕事も。

聞き手は三田高校から同大へ進学した直系の後輩 渡辺暁子さん(高56)と吉川真珠さん(高58)。

第六―三田―日本女子大をつなぐのは、女性の個性を大切にしたい伸びやかな学風だった。

宮本 私、お二人のおばあ様よりも年上かな。昭和15(1940)年に父の転勤で兵庫県から一年生の二期に第六高女に転入しました。三年生の初めころまでは、室内プールでの水泳、自分の体力に依りて歩く適応遠足、多摩川の農園での農作業実習などさまざまな体験をしながら楽しく学びました。16年に太平洋戦争が始まり、次第に学校での勉強より工場での勤労動員が増えて五年生のころには通年動員で工場へ通いました。昭和20(45)年三月に卒業式もなく卒業しました。動員で勉強ができず、学校で勉強を教えていた

吉川 私は今年に入学した一年生で、数物科学科という理系の学科にいます。何で女子だけの大学へ進学するのかと友人から言われましたが、私が何人かの先輩に聞いてみると共学の大学では、理系の女子は人数が少ないので、実験など男子が中心になり、自分で納得がいくようにできないと言います。日本女子大に入ってみてもよかったのは、何でも自分で考え自分で決めて行動できることです。今、振り子の運動を観測して加速度を計算する、物理の基礎実験をしています。夜までかかることもあり、くじけそうになるけど、自分で計算した数値と合う実験結果が出たときの喜びは大きいです。すごく達成感を感じます。

宮本 それは素晴らしい。日本女子大は創始者の成瀬仁蔵先生の考え

◆終戦で燃えた向学心

渡辺 始めまして。実は私も心理学を専攻しています。今三年生です。三田高校ではのびのびと過ごし、自分の持ち味を生かすことを学びました。宮



で百年も前から「女子を自立した人として教育する」ことを旨とし、「自学自動」を実践する女性を育ててきました。女性

が一人一人その個性を活かして生涯学び、また学んだことを自分から社会に活かすように行動することを教えています。丸山丈作先生の提唱された、女性健康を第一に個性を伸ばし、さまざまな社会的体験をさせるという第六高女の教育とも符合しますね。



渡辺 日本女子大に入る前は、華やかでお嬢さん学校だとか評判が気になつて共学校に進みたかったのですが、推薦で入学してみると雰囲気落ち着いていて全然違いました。皆がのびのびと自分らしさを出しているのが良いです。私も吉川さんも三田では部活動で吹奏楽をやっていました。私は打楽器で、日本女子大にサークルがないので早稲田大学のサークルバンドに入っ

て活動しています。知覚心理学を学んでいます。大学の連携で早大の心理学の講義を受けて単位にできるのもうれしいです。多くの友人とも出会い充実した生活をしています。

◆将来の可能性を信じて

宮本 良かったですね。私が学長のとき、早稲田、立教、学習院などと話し合つて私立大学の単位互換制度を作ったのです。私は大学で教える傍ら、もう50年も前のことですが、児童学科の教授に勧められてフルブライトの留学生試験を受け、昭和32(57)年から三年間米国のブランドイース大学大学院などに留学しました。帰国後は日本女子大で教え、さらに理事、評議員として大学の運営にも携わり、平成5(93)年から13(2001)年まで八年間は学長を務めました。最近は大卒のあり方がよく論議されますが、私は、今の日本の社会態勢の下では、女子の高等教育機関として四年制女子大学の存立意義が十分あると思っています。男女共学大学では、先ほどの話のように男女が等しく活躍できない部分があります。社会全体にも男女共同参画をうたいながら、女性の力量を十分発揮させようとはしていないのが実情です。大学の学長だつて女性は数えるほど。米

国では女性管理職には、女子大出身者が多いと聞きました。女子大でリーダーシップを取る体験が身につけているのです。日本女子大の出身者で社会的リーダーになっている人も多いです。

吉川 高校・大学の大先輩として、私たちに何かアドバイスがありますか。

宮本 いつも「可能自己」を信じて進んでほしいと思います。つまり将来の自分の可能性を常に思い描いてそれに向かって努力し、自分の力を社会のために発揮していく、そういう女性が伸びるので。私は、女性の伸びる力を信頼しています。若い皆さんに期待します。



左から吉川さん、宮本先生、渡辺さん、司会の田村和子広報委員

家族のあかし

宮本 美沙子

今から四十年前も前に、私は大学院生として、米国外のアンダーソン氏宅に寄寓(きう)して、彼は時計店を営んでおり、自宅は決して大きくなかったが、善意で留学生を受け入れて、「家族の一員として迎える」と言われ、部屋代も食費も出すことなく、一留学生として招かれたのであった。

大学院では、膨大な量の文献を読まねばならず、字引のお世話になりながらの私は忙殺されていた。それを十分に知っていた夫人は、日常は淡々と付き合ってくれたが、週末になると夫妻は私を机の前から引きはがすように、見事な紅葉を楽しむドライブに誘い、近くの湖水のピクニックテーブルでランチを楽しむなど、それは温かいもてなしをしてくださった。

こうした温かさに私は心から感謝していた。しかし何よりも感動したのは、別れの日のことであつた。かねて夫人が、「あなたは大事な家族の一員だから、お別れということはない。けれども何か記念になるものをあげたい」と言っておられたが、別れの日に夫人は私を抱擁し「私たちが心の心を込めたギフトだ」と言つて、とても小さな物をそつと私に握らせた。

それは、アンダーソン家の「表玄関の鍵(かぎ)」だつた。「あしたでも十年先でも、どんな夜中でも、いつでも鍵で我が家に入つていらつしやい」と言いながら、もう一度私を強く抱きしめた夫人の胸に私の涙がはらはらと流れ落ちた。この鍵は、今もなおアンダーソン家と私の心をしっかりとつなぐ大事な宝物である。

二九七年七月二日付日本経済新聞交遊抄より

私の近況

客船クルーズでの旅

9-1 日比 芳子(細谷)



旅は、私の楽しみ。四十年前より、ドライ旅行(車に同乗)を続け、今までに日本中殆どの地を、駆け巡りました。八十年代に入ってから、客船クルーズの楽しさに惹かれ、これまでに、「飛鳥」に十三回(内、「飛鳥II」に二回)、「ぼしふいつくびいす」に二回、計十五回乗船することが出来ました。この客船のお蔭で、日本一周、北海道一周、九州一周、沖縄石垣島、小笠原諸島、各地夏まつり、サハリン等へと、海から訪れ、陸路で見る日本とは別の日本を新発見し、日本の良さにあらためて感動しました。クルーズ十五回共、幸いにも、息子に同道して貰い、何れも最上階デッキ付船室から眺めながらの船旅となり、至上的ものとなりました。今では、乗組員とも顔馴染みとなり、船上での人々との出会い再会等、数え切れない想い出が一杯です。船旅は、今では、私の人生での宝物となり、今後また参加できればと願って居ります。

今回は卒業回数が第六末尾9、三田末尾8の方をお願いしました。

環境・食品・人の健康は

リンクするー岩手より

19-A 橋本 勢津(菊池)

戦後、内科医、保健所長を経て現在は医大非常勤講師として公衆衛生活動に携わっています。戦後、乳児死亡率が高く、まず、小さな命を守るよう運動から出発。妊産婦、乳幼児、住民の栄養改善のため「緑黄色野菜を食卓に」と村全世帯にかぼちゃ苗を配付、植え、結果大収穫でした。村民は元気で保健活動に参加、乳児死亡も他に先がけて0達成、かぼちゃ運動も近隣小中学校の食育教育として実施中です。



また、「環境・食品・人の健康はリンクする」をテーマに、森林面積の広い町には、森・水・健康について科学的諸検査を示し重要性を強調。今、水は町の一大産業になりました。平成十七年に、永い間の私の公衆衛生活動が評価され、岩手日報文化賞や保健文化賞を受賞。第六高女時代、「土に親しめ」の沼部農園を思い出しています。

歌を友として歩む

8-5 伊藤富美江(伊藤)

公立中学校の数学教師を定年退職して八年目。当時は「荒れる中学校」で生活指導に明け暮れる毎日でした。ちょうどその頃歌っていたシャンソンが私の心の慰めになりました。



音楽と私の出会いは、三田高校時代昼休みに講堂で弾かれる高城先生のピアノ、驚きの一言でした。私の音楽への目覚めとなったのかも知れません。現在、シャンソン、カンツォーネ、ラテンと領域を広げています。

暫く前から、都内のライブハウスで定期的に出演、また毎年一回、秋にソロコンサートを開いています。今年十一月十九日目黒「音の箱」で五回目のコンサートを開きます。五月には八回生卒業五十周年記念同期会で数曲歌わせていただきました。他に老人ホーム慰問も。今後力が続く限り、歌を友として思っております。

新研修医制度を迎えて

18-7 大谷 英祥

早いもので、三田高校を卒業してから四十年になります。

私は三十年あまり、不足しがちな麻酔科医として働き続けてきました。麻酔の業務に追われて、学問的にはたいした成果を残せず、やや悔しい思いをしています。同じ18回生の中には何人もの教授が生まれています。同窓会で会うと、少しまぶしく感じます。

今は深谷赤十字病院で、麻酔科医としても働きながら、副院長として、経営や研修医の育成にも関わっています。私と同じような専門バカを作らないように、研修医の育成には特に力を入れています。各診療科の横のつながりを強化し、病院全体で研修医を育てていく方式は、大学では出来ない方式だと自負しています。

来年度は還暦を迎えることになり、記念の同窓会を開こうという声も挙がっています。楽しみにしています。



手術室内で研修医の指導をする大谷さん(中央)

ブラジル人?!

28-6 近藤 祥江 (松田)

大学では農学を学び農業改良普及員の資格をとり、筑波大に就職して教授の手伝いや学生実験の技術指導などをしていましたが、夫のアマゾン出向のため、当時四ヶ月の長女に三種混合などを最短期間で済ませて地球の裏側に行きました。

片道約40時間の旅でしたが、祖父が明治中期のハワイ移民だった事もあり当時の船旅よりはずっと楽だと思つて四年間ブラジルで過ごして来ました。現地では日系人の大学の先生と野菜の水耕栽培の研究の手伝いなどもでき、充実した日々を送る事ができました。帰国後はポルトガル語ボランティアとしてブラジル人の小学生の相談相手や学校からの文書の翻訳などを行っています。つくば市内の小学校に行つていた時には五年の女の子のご両親が「近藤先生はブラジル人?」と不思議そうに言っていたそうです。



小三の長男と家庭菜園で

今の自分があるのは

38-8 菅野 元行

2002年に研究発表
したポーランドでの
国際会議にて

日本大学(理工学部物質応用化学科短期大学部応用化学科)で化学の講義を行い、研究室では有機物資源のエネルギー等への変換について研究しています。大学の広報活動の一環で三年前、昨年と三田高校を十数年ぶりに訪問する機会を得ました。私の在学時の先生方はおられません、校舎は以前のままで懐かしく思いました。

振り返ると、1年担任だった尾勝先生のお陰で数学の苦手意識を払拭でき、3年担任の徳峯先生のご指導で受けた日大理工に合格することができ、その在学時に巡り合った研究を続けて今の自分があります。大学の化学系研究室では英語論文の解説や執筆が必須ですが、それらの作業や国際会議の発表などに進んで取り組めるのは、三田高校の国際理解教育や英語教育が影響していると思います。その他にも都会での立地を生かして弓道部などの課外活動でも高校生生の時にしかできないことを経験しました。在学時は目立つ生徒で

はありませんでしたが、こうして振り返ると三田高校在学時に見聞きしてきたことがその後の自分を形成していることを再認識し、有意義な三年間を育てていただいた三田高校に改めて感謝しています。

吹奏楽部の繋がり今も

48-4 渡辺 深里

卒業して早十年。当時はトランペットを吹いていましたが、今はソプラノサクスを習っています。今度、人前で少し演奏する機会を頂き、それに向けて練習中です。



昨年は、OB・OGまた現役生が集まり最初で最後(となる予定)の演奏会を開催。久々に「合奏」の喜びを味わいました。実は

は現在の仕事を紹介してくれたものもその時に再会した先輩です。最近、仕事を教える立場となりましたが、初心を思い出し悪戦苦闘ながらも充実した毎日を送っています。

吹奏楽部の友達とはネットやメールで連絡を取り合っています(十年前は「ポケベル」でした)。先日、その一人である(旧姓)五月女まどかさん

に第二子誕生!皆で会いに行こうと思つています♪環境は変わりましたが、講堂で練習した仲間との絆は健在です。

大学という場所で

58-2 西澤 文宏

今思うと、高校生がずっと昔のことのようです。それは大学という場所が高校とは別世界だからかもしれません。私は税理士になるという目標を持って大学に來れてよかったと思います。

大学は自分から行動しなければ何もできない所だから、もし目標がなかったらただ授業をこなすだけの中身の無い時間を過ごしてしまうと思うからです。私はサークルで趣味を楽しみ、やりたかったバイトをしています。目標に向かいながらやりたいことができてとても充実しています。そして大学はそういう所であり、遠回りしなくても良いということが分かりました。また、大自然に囲まれた環境はいつも私を新鮮な気持ちにさせてくれます。



右端が筆者

これから大学とはどういう場所なのかを考えながら、いろいろな可能性を広げ、夢に向かっていきたいです。

旧工組の級会

19ウ 渡辺 淑江(石井)
19ア 高木 幸子(伊藤)

私達十九回の卒業生は、三年生になる時、戦時中で英語が選択制となった為にクラス替えがありました。その結果それまでの五級がバラバラになってしまいました。

それでも幾つになっても思い出されるのは入学した時の級友という事で、工組の上に「旧」の字をつけて旧工組として時々集っております。

昨年も十一月二十六日に濃い緑に囲まれた日比谷公園内の松本楼の二階で集いました。

寄る年波と諸事情もあり参加者は十名位でしたが、今回も遠々九州から参加して下さる方も交えて、皆当時に戻って幸せな一時を過ごしました。戦争を挟み、こうして昔の話に花を咲かせる事の出来る平和のありがたさを改めて感じた一日でした。

次回はまた一人でも多くの方がいらして下さる事を期待しつつ再会の約束をして散会としました。

第十五回に相応しい盛り上がり

41-2 米澤 朝子(阿世知)

五月十四(日)、大田区民ホールアップリコにて、三田フィルハーモニーオーケストラ第十五回定期演奏会が開催されました。

第十五回という区切りの記念に相応しい気鋭の指揮者により、これまで以上の音楽が出来上がり、演奏者だけでなく観客まで一体化したような会場全体の高揚感の中での素晴らしい演奏会となりました。

終演後のアンケートでも多くのお客様からお喜びの言葉を頂き、感動もひとしおでした。

三田高校の部活動をきっかけとして、その卒業生達により始まった、このアマチュアオーケストラが、こんなに沢山のお客様から喜んでもらえるような演奏会を開催するまでに、成長出来、本当に嬉しい気持ちでいっぱいです。

これからも、団員それぞれ忙しい中での活動ですが、さらなる発展目指して頑張っていきたいと思えます。

十七回生同期会盛大に開催

17-3 立原 敦
17-3 佐藤 史子(安藤)
17-2 伊澤 岬

還暦、定年と人生のターニングポイントを迎える年にあたり、品川パシフィックホテルの最上階ラウンジを貸し切った十七回生同期会を本年六月十八日(日)に開催、ほぼ三百人の同期

生中なんと百人強の出席での大盛會。転校、留学などで一緒に卒業できなかった仲間も飛び入り参加。元木恩師の出席を頂き、次回幹事長われらがホルムドクター栗原さん(写真右)の乾杯のあと、栢木さんの大道芸「がまの油売りの口上」あり、山口、山寺さんの歌唱と彼女らのピアノ伴奏の山内さんとなかなかの芸達者ぞろいに一同大感激。そして皆の熱い想いは、充実した名簿に結実しました。二次会はホテル地下の名建築の誉れ高いバー「エルベリンドール」でしばし歓談、別れを惜しんでの解散。団塊の世代らしいパワフルな会でありました。皆様ありがとうございました。(文責 伊澤)



支部連絡先

札幌	北海道の支部連絡先は、現在のところ未定ですので、決まり次第掲載いたします。				
東北	17-ア	今岡 光子	〒980-0801	仙台市青葉区木町通1-6-28-905	022-262-1755
千葉	17-6	進藤英津子	〒261-0012	千葉市美浜区磯辺6-6-10-304	043-277-3469
湘南	21-イ	飯塚美枝子	〒230-0051	横浜市鶴見区鶴見中央4-11-11-203	045-503-3667
静岡	5-2	稲葉和寿子	〒422-8071	静岡市豊原町2-13	054-285-6573
東海	2-2	神野能生子	〒440-0806	豊橋市八町通4-48	0532-53-3261
関西	2-1	芝 瑤子	〒665-0871	宝塚市中山五月台5-9-9	0797-89-6003
京都	16-イ	常田 道子	〒612-0063	京都市伏見区桃山毛利長門東町34	075-611-1125
福岡	7-3	爲数 俊子	〒818-0101	太宰府市観世音寺6-16-16	092-923-0849
大分	4-4	山下 延子	〒870-0826	大分市城南西町2A-27-2712	097-543-4233

SWEET MEMORIES

～オセンチ山 No.5～

秘密基地・オセンチ山

10-3 緑川 雄三

オセンチ山と聞くと今でもドキッとする。初恋の人と口口と言いたところですが、私のはキナ臭い「冷や汗思い出」なのです。

〔山腹の小池の水中に閃光が走り、ズンと地響き。・・と2発目の水雷が、浮上して来て水面でバーン。破片が耳をかすめヒヤーリ。〕

池が干上がり(ヒビ?)、山も消えた(改装?)と聞いたのは卒業してずっと後のことです。実演の火山に惹かれ化学部に入部、包容力の大きな小此木先生(部顧問)や個性派先輩部長に敬服し、

千変万化のバケ学に夢中になりました。色(呈色・水中ゲル花・染料)や光(焰色・花火)や音(爆薬)へと興味はエスカレートして、危険な実験へと進出したのです。当時、小遣いの大半が薬品代に消え、自宅には薬品棚が出来ました。さすがに処理に困って卒業後に引き取ってもらった先が、これまた因縁のオセンチ山の山腹の危険薬品倉庫なのでした。

これにもし「実験に匹敵するドキドキを感じた人とのロマンス」が、この山で実現していたら、完璧でしたね。あの頃は皆、純情・純朴で、男女交際していたのは数組程でした! まあそれはともかくとして、オセンチ山は、いつまでも忘れ得ぬ「我が懐かしの思い出山」なのです。

三田高校の宝物

旧職員 元木 光雄

私が、三田に着任したのは、敗戦により教育改革があり、高等女学校が高専学校になり、名前が第六から三田にかわり、まもなく男女共学になる直前のころであった。そのころの三田には、ご自慢の宝物として、プールとピアノがあった。

プールは、道路に沿った所の同窓会館の階下にあつて、冬でも泳げる温水プールで、都立では九段と三田だけだと聞いていた。しかし戦後まもないころは、油の入手が困難で、余り十分に利用できてはいなかった。水の循環装置には、細かい綿の繊維がよくないと体か、必ず絹の水着を使うようにと体育の村上先生は、指導していた。それにボイラーの運転には、資格のあるボイラーマンが必要で、そんなに毎日ボイラーを焚く必要があるわけでもない学校としては、専従のボイラーマンをおくことはむずかしく、門衛と兼ねてなどとかんがえていたようだったが、人件費のこともあり、そううまく具合

には、いかなかった。私の転出後の校舎改築にあたり、校舎内に広い同窓会のスペースはとれないとかいうこともあり、同窓会館の取壊しとともに、昔のプールも取り壊されてしまった。

なお、同窓会館と正門脇の門衛所との間にあつた庭石には「さし石」とあつて、力比べに使われた珍しい石、有馬の邸以来からのものかもしれないが、これも改築の際に失われてしまったようだ。

三田の講堂は、柱のない広いスペースを、階下にはとりにくい昔の技術上の問題があつたのか、階上にあつた。その高い所の天窓から飛び込んだ鳩が、外に出ることができず、空しく飛びまわり、助け出してくてもどうにもならないことが、時々あつた。例のピアノは、この講堂の壇上にあつた。昔の父兄からの寄贈になるスタインウェイで、日本中でも何台という数少ない、最上等のものと、高城先生から聞かされた。ピアノといえば、ヤマハくらいしか知らない門外漢にも、大したものという感じで、たしかにその音はすばらしかった。

数々の生徒は、自分たちの白珠祭を外部にかけまわされたくないという意識が強く、大体の流れとしては、三田は平穩に推移した。しかし、そのようなことなく不穏な動きが感じられたところ、あのピアノが壇上から下につきおとされて破壊され、ほかに置かれていたアップライトのピアノも、内部をなにかでかきまわしたらしく、破壊されたことがあつた。スタインウェイは、修理してもなおほかのものよりはよい音が出るということで、都にもはたらきかけて修理された。暫くして壇上にもどされたが、横木のようなものがついた痛々しい感じが残っていて、それでもまたすばらしい音が聞けてほっとしたものであつた。

最近、そのピアノが流石に永年の経過の波から、又修理の時が来ていたとか。こうしたピアノのような楽器は、何度でも修理して、永久に弾くことができるものなのだろうか。楽器は、そこにおいて、ただ見るだけでよい古美術品とは違って、音を出すものだけに、なかなかむずかしい扱い方があるのではなからうか。

今は、我が国のスタインウェイの数も多くなり、めずらしくはないのかもしれないが、三田のは古く、ひと味違うのだという思いがある。今も三田の宝物である。

わ か

同期会、クラス会、OB会、支部会など、同窓生のお集りならなんでも結構です。楽しい原稿を是非お寄せ下さい。

わかバ会行事に参加して

第13回室内ゲーム大会

14オ 兵頭 英子(岩田)

「マーじゃんを楽しむ会」の同窓会
は、JR市ヶ谷駅より桜咲く道を真直ぐ
に歩いたすく横、何時もの「新樹」と
云う会場で行われました。八卓満席の
盛会でした。

例えば同窓会だけでは人数揃わず、
同じくマーじゃんを楽しむ方々の二つ
の会にも入って頂き合同にて一卓四人
計三十二人の大会となりました。午前
二回午後二回とゆつくりのプレーを楽
しみました。子育て終わった方々、孫
ばなれた方々等、全く時間の経つの
を忘れる楽しいゲームであり楽しき方
々とお会い出来、出会いもある事、も
っとどんどん出席なさるとよいなあと思
います。なんと云つてもリリーターの
中村さんの大人数のとりまめは何時
もながら大変だった事と思います。又
来年の四月には開催の由、益々の盛会



(平成十八年四月七日実施)

を願う年齢をとわ
ず楽しめるマーじ
ャンを共に楽し
みたく存じます。
今回の受賞者は、金
賞は兵頭英子(14オ)、
銀賞は設楽孝子(14オ)、
銅賞は齊藤謙吉(会員
の友人)、わかバ会賞は
菅谷美奈子(7-15)、
大波小波賞は黒澤紀子
(8-13)、協力賞は吉
野茂(8-13)の方々。
次回は19年4月予定。

楽しい演奏会〜モーツァルトの夕べ〜

7-6 岩崎由利子(白戸)

今年もまたわかバ山荘に参りました。
軽井沢の風と水そして風景に魅せられ
て、特に今年はモーツァルト生誕250周
年を記念してミニコンサートが催され
るので友人をお誘いしての参加です。



二時から
コーラス指
導があるの
で何時もよ
り早目の山
荘入り、旅
装を解き早
速音楽室へ
曲目は「ね
むの花」、
きれいな声
に囲まれて

私達も大満足でした。いよいよ五時よ
りコンサートが始まりました。先輩の桐
生郁子先生と生徒さん達のすばらしい
歌声にうっとりいたしました。歌声の
中で私達も団員になったような気持ち
になり、参加し同化出来たことの喜び
はなにものにも変え難いものと思ひ
ます。晚餐会では演奏者の方々の楽
しい楽しい交流会となりました。また
このようなすばらしい催しものがあり
お誘い頂ければ幸いです。

(平成十八年八月五日実施)

わかバ会ゴルフに優勝して

8-3 五百森 万右

この大会での優勝は平成九年と今回
で二度目となりました。前回は当「わ
かば」誌42号にグロス80で廻つたと自
画自賛の文章を書いていて今読むと気
恥かしい限りです。今年は皆にチャ
ンスがあるようにと新ペリア方式で行
われ、そのお陰で運よく優勝カップを
いただきました。この大会も今年で実
に23回(年)と喜々として長続きしてい
ます。これは互いに青臭の時を知って
いて勝った負けたに感情をムキムキに
して楽しめる会だからでしょう。九月
八日の当日は天気に恵まれ、まだ夏の
雰囲気が残る軽井沢2東入山コースは
爽やかで気持ちのよい一日でした。夕
方から始まった表
彰式やパーティも
大変楽しい時間で
幹事の山口君が持



参してくれた沢山の賞品も今年はグレ
ードアップ、会が一段と盛り上がりま
した。サンキュウ・ヴェリマツチ・イン
ディード。(平成十八年九月八日実施)

山荘

山荘に行つて来ました

28-3 小方 康彦

八月中旬山荘に二泊し軽井沢を回り
ました。存廃論議が起きた頃から一度
泊まってみたくと思つていたのですが
今回ようやく実現しました。

家族四人車で午前中に横浜を出発、
途中渋滞もあり軽井沢に着いたのは夕
方になっていました。レイクニユータ
ウンに入り事前にもらった地図を頼り
に山道を登りちようど六時に山荘着。
山荘という名の通り木立に囲まれた空
気のいい別世界です。

翌日は朝から曇り空、途中雷雨に襲
われながら北軽井沢の牧場に行つて後
旧軽井沢見物という一日でした。三日
目の朝は前日の雷雨のもたらした寒気
で最低気温は十四度、やはり平地とは
違います。テニスを楽しんでから帰路
に着きました。

おかげ様で三日間の楽しい旅となり
ました。山荘の皆様のおもてなしと御
配慮に改めて感謝致します。



学校だより

副校長 酒井 定克

七月半ばにPTAの皆さんと夏休みのホームルーム合宿でワカバ会山荘を利用させて頂く一学年の先生方とで山荘を見学させて頂きました。現在では山荘がある都立高校は少数で、本校の生徒は恵まれた環境で勉学でき、幸運だと思います。私自身の母校でも、予備校も無い地方都市のため、同窓会が退職教員を講師にした予備校を校地内に設立したと聞いています。学校によって様々な形で同窓会の支援を受けて生徒の勉学に励みをつけさせて頂いているわけです。

さて学校の方は夏休みも終わり、九月の白珠祭が終われば、本格的に勉学とスポーツの秋を迎えます。本校に赴任して感心しているのは、先生方が生徒諸君の学校生活や進学の指導に真剣に取り組んでいることです。

夏休み中もほぼ毎日講習を組み、ほぼ全員の先生方が生徒の学習指導に取り組んでいました。また、講習に参加した生徒数も延べ千人を超えていました。予備校の夏季講習に参加する生徒もいると思いますが、なんとと言っても生徒と日常的に接し、個々の生徒の状況を的確に把握し、最も適切な指導ができるのは、本校の先生方です。

今後とも生徒諸君の進路実現のために努力していきたいと思っています。

ワカバ会軽井沢山荘見学会

三田高校PTA文化副委員長

若林 則子

去る七月十六日、先生方と一緒に昨年リニューアルしたワカバ会軽井沢山荘に見学に行きました。緑濃い森の中にすっきりと立つ山荘はとても明るく、エントランスは広々としていて、途中渋滞に遭い疲れ気味だったのが嘘の様に暖かい気分になりました。

出迎えて頂いた平山副会長、西上原理事、そして食堂の方々の笑顔、ボリュウム満点のお食事で、すっかりリラックスする事が出来ました。

食事の後、私達は山荘内を案内して頂き、明るくきれいな各部屋数人で楽しめそうなバスルーム、清潔なトイレまでじっくり見学させて頂きました。

参加者は、静かで設備も整った自然溢れる山荘に、HR合宿やセミナー合宿に参加する子供達を安心して送り出せると話していました。

ワカバ会の皆様、いろいろご配慮して頂きありがとうございます。

軽井沢山荘見学バスツアー アンケート

(山荘見学にご参加くださったお母様たちにうかがいました)

◆参加して良かった点

- ・HR合宿の下見が出来てよかった。様子がわかったので子供に話が出来る。(多数)
- ・山荘の場所や部屋の様子がわかって安心。緑が多く静かでいい所だった。(多数)
- ・ワカバ会によって山荘が維持され、設備が整えられているのがよくわかった。(多数)
- ・食事も美味しかった。
- ・山荘がきれいであわいらしくてよかった。勉強できる部屋があるのが素晴らしい。
- ・なかなか他のクラスや学年のお母さん達とお話しする機会もない中、参加することで顔見知りになれて楽しかったです。(多数)
- ・車中の企画で三田高のことがよくわかり、楽しかった。
- ・参加費がリーズナブルだった。
- ・三年生で参加。最後にいい思い出ができた。
- ・校長先生のオカリナ演奏を生で聴くことができ、嬉しく思った。他

◆残念に思った点

- ・渋滞で予定変更になったこと。(多数)
- ・天気がよくなかったこと。(多数)
- ・バスで山荘の入り口まで行けなかったこと。
- ・渋滞のために山荘の方やワカバ会の方とお話しする時間が無かったこと。
- ・委員の皆様のお力で、楽しく過ごせました。せっかくの機会だったので、山荘で軽く懇談会が出来るとよかった。他

今年も、多くの三田高生に山荘を利用していただきましたが、二年続けて部活動の合宿に参加された放送部部长(二年、女子)に感想をうかがいました。

昨年と同様、今年のワカバ山荘で合宿はとても充実したものとなりました。それも、親切にして頂いた山荘の方々のおかげだと、一重に思っております。緑豊かな軽井沢の山荘で、気持ち良く活動ができました。食事も、とてもおいしかったです。

来年もできたらまたワカバ山荘で合宿がしたいと思っています。



情報ひろば

◆映画紹介

「ダブルシフト～パパの子育て奮闘記」全国で上映会

少子化が叫ばれる昨今、父親の育児休暇がクローズアップされています。スウェーデンを初めとする北欧社会では早くから男女平等の制度が整い



70年代から男性の育児休暇がスタート、現在では短期取得を入れるとほぼ90%近い男性が育児を体験しています。といっても、嫌々育児する男性は少なくありません。この映画の主人公もそんな男性の一人。彼女には約束したものの、職場には育児休暇を要求できず、悪戦苦闘しながら子育てする新米パパのお話です。日本でも育児を体験した30代の男性達からは「自分の体験とそっくり」と共感を呼び、これまでの上映会場ではどこも好評のスウェーデン映画です。詳細は

http://blog.goo.ne.jp/solveig_2006

連絡先：渡辺芳子(25-1)

Tel/Fax 03-3452-6052

e-mail: solveig@u01.gate01.com

◆三田フィルハーモニーオーケストラ第16回定期演奏会

日時：2007年6月3日(火)

13:30開場/14:00開演

会場：大田区民ホール アプリコ 大ホール

入場無料・全席自由

曲目：未定

指揮：久世武志氏

(詳細は、また次号でお伝えします)

◆三田高校7回生(昭和30年卒業)古希を祝う会同期会開催のお知らせ!

日時：2006年11月25日(土)12時(正午)開宴

会場：銀座ビーアールビー(会員制クラブ)

中央区銀座8-9-4

(銀座通り三菱東京UFJ銀行を南に2軒目)

電話 03-3571-7821

会費：8,000円

世話人：1組 藤野 武 048-756-0510

2組 菊本悦子 0425-91-0996

3組 齋藤節子 03-3387-0311

4組 植田 直 0474-38-9654

5組 角田久子 03-3251-0551

6組 福田寿美子 03-3417-0396

7組 青木宏泰 0424-73-3902

皆さまのご出席を心からお待ちしております。

中村左都子(本多)(7-2)

◆三田高校29回生の皆様へ

早いもので平成19年は卒業30周年となります。恒例同期会の年であると共に、春の同窓会においてホームカミングとなります。そこで、来春5月20日予定のワカバ会総会に合わせて大同期会を開催いたしたく準備いたします。何卒、万障お繰り合わせの上、出席のご準備をお願いいたします。

(予定)

ワカバ会総会(平成19年5月20日、三田高校) 集合16時より近隣会場にて大同期会、詳細は年明けにご案内します。連絡先：平山孔嗣(29-2)

e-mail: czfl2361@nifty.com

◆マエストロ・ケマル・ゲキチ来校

ースタインウェイを試弾ー

大使館主催のパーティのために、由緒ある楽器を探したいというマエストロ・ケマル・ゲキチの意向を受けて、三田高のスタインウェイを弾いて頂いた。「アメリカン・スタインウェイ!」と楽器を見るなり嬉しそうな第一声を上げる。ケマル・ゲキチはあのプーニンが優勝したショパン・コンクールで、優勝候補の筆頭と目されながらも落選したことでスキャンダルを巻き起こしたことで知られる。マエストロは毎年末に、シェ松尾で演奏会と晩餐会を催す。このチケットは、口コミで買われてゆくので、一般に発売されることはないが、このパーティの世話人を私が仰せつかっているのである。帰途のタクシーの中では、楽器修復について助言をして下さった。

詳細は後援会のHP(kemalgekic.jp)に掲載予定

〈これからの
ワカバ会行事〉

只今参加者募集中

FAX、または電話、メールでお申し込みください。

＜第4回 シャドーボックス＞

～立体的な絵の作品づくり～

期日：2006年11月8日(水) 13時～16時

場所：ワカバ会事務局

講師：田澤恵子(26-1)

内容：小作品作り

会費：4,000円(茶菓代・材料費、

初めての方は器具代別)

申込締切：2006年10月31日(火) 定員15名

＜第13回室内ゲーム(健康麻雀)大会＞

期日：2007年4月6日(金) 10:00～17:00

場所：新樹(Tel 3264-7093)

千代田区九段4-7-17-4F

JR市ヶ谷駅下車(徒歩5分)

講師：健康麻雀指導者 田中正道先生

会費：4,500円(会場費、昼食代、賞品代)

申込締切：2007年3月20日(火) 定員32名

会場は当日ワカバ会用に貸切りですので大変楽しく皆さんゲームに熱中しておられます。また年齢・学年の差を超えたワカバ会員相互のふれあいもなかなか素晴らしいものです。ぜひ一度ご参加下さいませ。

総会報告

第六十九回ワカバ会総会は、五月二十一日(日)十二時より十三時まで今年も母校体育館で開催されました。出席者は二百五十一名(定足数百名)。十七名の客員の先生方のご出席をいただきました。

笠原会長が昨年リニューアルされたワカバ山荘は約九百名の利用があり、学校行事、合宿にも多数の参加者があり好評をいただいている。これも皆様のご協力の賜物と感謝している。また平成二十年には創立八十年を迎えるので準備にとりかかっているので、ご希望、ご意見をお寄せ下さいと挨拶しました。次に新名誉会長 三田高校校長 須藤勝氏より、本校の伝統を守りさらに発展させていきたい、また六階にワカバ会事務局があり、大変心強く思っているとの挨拶をいただきました。

議事に入り、平成十七年度決算、事業報告が市倉信義監事の監査報告の後満場の一致で拍手をもって承認さ



れ、平成十八年度事業計画および予算案も満場一致で承認されました。

恒例の懇親会は会場を音楽講堂に移し、例年にも増して盛大でなごやかに進行。福引も工夫をしてスピードアップしましたので、高十九回有志のバンド演奏に名残を惜しみながら、無事定刻に今年の集いも終わる事が出来ました。

ホームカミングデーに参加して

28-7 林 俊彦

心の故郷と思われる、母校を訪れる機会を有難うございました。久しぶりに連絡を取り合って、再会を果たすことができて感激です。先生方、先輩方、当時の仲間への感謝の気持ちでいっぱいになりました。そして、おなかも…。その後、懐かしい東京タワー方面にゆつくり歩いて同期会へ。気持ちの良い晴天に恵まれました。同期会には、荒井先生、新井先生、田中先生、横田先生がご出席くださり、二十八回生は百一名が参加。一年のクラスで集まったり、写真を撮ったり、三十数年前とそれからの話で盛り上がりました。今回はN年後(Nはおよそ三くらい)というところでお開きに。皆さん、お元気で。♪白珠の・・・(追伸)幹事の一翼を担ったこの二年間も、良い思い出です。特に女性陣は腕ききでびつくり。これからも宜しく、そして有難う。

委員会報告

総務委員会

本年度は、五月二十一日(日)に第69回総会が無事終了いたしました。ホームカミングデーも五回目。しっかりと定着し、多数の同窓生が集いました。来年も更に多くの方々がご出席くださいますようお願いいたします。

委員長

竹内 和世 (5-14)
鈴木美智子 (9-13)
平山 孔嗣 (29-12)

企画委員会

当委員会は、18年度より新委員にていろいろと会員の皆さんに、喜んでいただける企画行事を実施中です。

春には 室内ゲーム大会(4月)
夏には 山荘を利用した行事

①音楽会の夕べ(8月)
②ゴルフ大会 (9月)

秋には

①母校白珠祭への出席参加(9月)
②日帰りの旅支部との交流(10月)
冬には母校を会場に

①シャドーボックス

(手芸創作)講座(11月)

②ニューイヤークンサート(1月)
どうぞ皆さん 春夏秋冬どれか一つの行事にご参加いただければ幸いです。

委員長

中村左都子(7-12)
桐生 郁子(4-11)
宇野 修平(8-12)

事業運営委員会

昨年全面改装を行って再開した山荘ですが、本年もボイラー交換・浴室シヤワーブース設置及びカラン増設・外部臭気対策・樹木伐採等の追加工事を行い予定通り7月14日にオープンしました。

三田高生は昨年同様ホームルーム、クラブ、勉強の各合宿で延約500名の利用が有りました。

しかしながら、ワカバ会会員等の一般利用者は残念ながら昨年を20名下回る約370名に止まりました(一昨年は590名)。山荘の維持には会員の利用が不可欠です。是非ご協力下さい。さいわい山荘コンサート、ゴルフ会は成功裡に終わりました。

大田区鶴の木の本の駐車場は9月以降2台空きが有ります。

委員長

山口謙一郎(8-11)
竹内 和世(5-14)
西上原節子(24-15)

パソコン委員会

本委員会は、会員の情報管理と事務効率化のために、活動しています。プライベートポリシーを設定し、抜者のマニュアルを整備することによって、お預かりしている会員の皆様の大切な情報を遺漏無きように管理するとともに、同窓会としての活動に利用させて頂いております。クラス会、同期会などのお手伝いもしておりますので、是非ともご活用ください。

H Pも会員の皆様が自らが主人公のH Pとして、ご意見ご要望を積極的に頂戴し充実させて参りたいと思っております。

委員長 平山 孔嗣 (29 1 2)
田中 浩 (32 1 5)
小針 淳 (40 1 3)

会計委員会

会計委員会は、ワカバ会本会計、駐車場特別会計の予算、決算業務及び日常の出納、記帳等の業務を、事務局とともに従っております。

会報と同送された維持会費納入にご協力いただいた方々の名簿を眺めていると、多数のお名前に庄倒されるようですが、これは全会員の三分の一にも満たないのです。

維持会費というのは、あくまでも任意のものとは言え、会の運営、また、さし迫った八十周年記念事業に向けて、なお一層のご協力をたまりませんようひたすらよろしくお願い申し上げます次第です。

委員長 茨木 万理 (19 1 1)
片山 優子 (19 1 2)
平山 孔嗣 (29 1 2)

広報委員会

例年通り、「わかば」春号、秋号(59、60号)の発行を行いました。

特に変わったことはありませんが、この「わかば」を通じての会員同士のコミュニケーションを第一に考えております。その意味では、ホームカミングデイの設置と告知により、総会に来てくださる会員の皆様はかなり増えて

毎年賑やかに行えるようになったことは、嬉しい限りです。

委員長 田中 浩 (32 1 5)
田村 和子 (10 1 5)
津田 一哉 (32 1 8)

理事会報告

平成十七年六月より平成十八年五月

第一回(17.6.23 6時30分～9時30分)

会計月例チェック、会長・副会長選出、総会の反省、山荘改築状況報告

第二回(17.7.15 5時30分～6時30分)

於山荘。山荘関係・事前準備等の報告、スラインウェイ関連寄付の件

第三回(17.9.29 6時30分～9時30分)

会計月例チェック、都庁書類提出、山荘利用状況・収支決算報告、山荘企画・白珠祭参加報告、会報58号の件

第四回(17.11.21 6時30分～8時)

会計月例チェック、維持会費納入状況、会報58号発行報告

第五回(18.1.19 5時～7時)

会計月例チェック、総会・評議員会日程、来年度企画案、会報59号の件

第六回(18.3.22 6時30分～9時)

会計月例チェック、18年度予算・活動計画、山荘18年度工事予定

第七回(18.4.19 6時30分～9時)

会計月例チェック、総会内容について、会報59号発行・発送報告

評議員会(18.5.13 2時)

評議員数67名、出席数12名・委任状40名 合計52名、17年度事業報告・決算報告案、18年度事業計画・予算案承認。

平成17年度 決算 ・ 平成18年度 予算

(自平成17年4月1日 至平成18年3月31日) (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日) (単位:円)

科 目	平成17年度予算額	平成17年度決算額	平成18年度予算額
収入の部			
1 基本財産運用収入			
基本財産配当収入	100,000	76,989	80,000
基本財産利息収入	1,500	1,418	1,500
2 会費収入			
維持会費収入	1,345,000	1,355,000	1,255,000
山荘会費収入	10,500,000	9,503,000	10,500,000
3 事業収入			
山荘事業収入	5,500,000	5,240,456	5,500,000
山荘商品売上収入	250,000	298,000	550,000
山荘商品返還収入	300,000	248,560	300,000
4 寄付金収入			
山荘別寄付金収入	80,000	39,000	0
5 雑収入			
雑収入	0	300,000	0
6 特定預金取崩収入			
山荘記念事業立入金取崩収入	15,000	4,870	5,000
7 繰入金収入			
山荘駐車場会計山荘繰入金収入	500,000	17,190	15,000
山荘駐車場会計山荘繰入金収入	13,000,000	13,000,000	6,900,000
当期収入合計(A)	35,591,500	37,020,791	30,106,500
前期繰越収支差額	3,030,286	3,030,286	3,657,505
収入合計(B)	38,621,786	40,051,077	33,764,005
支出の部			
1 事業費			
山荘総会費	1,500,000	1,734,002	1,700,000
山荘山行80周年記念事業費	5,400,000	4,854,148	5,000,000
山荘山行80周年記念事業費	7,500,000	8,040,724	8,000,000
山荘山行80周年記念事業費	100,000	106,555	100,000
山荘山行80周年記念事業費	13,000,000	13,008,870	6,900,000
2 管理費			
山荘山行80周年記念事業費	250,000	234,599	250,000
山荘山行80周年記念事業費	5,000,000	4,493,695	4,500,000
山荘山行80周年記念事業費	250,000	138,010	150,000
山荘山行80周年記念事業費	980,000	819,760	820,000
山荘山行80周年記念事業費	120,000	127,542	130,000
山荘山行80周年記念事業費	200,000	221,082	220,000
山荘山行80周年記念事業費	130,000	126,000	130,000
山荘山行80周年記念事業費	330,000	324,400	330,000
山荘山行80周年記念事業費	300,000	1,024,911	1,200,000
山荘山行80周年記念事業費	330,000	282,479	280,000
山荘山行80周年記念事業費	30,000	14,175	15,000
山荘山行80周年記念事業費	100,000	141,965	150,000
3 固定資産取得支出			
山荘山行80周年記念事業費	50,000	0	50,000
4 貸付支出			
山荘山行80周年記念事業費	0	0	0
5 予備費支出			
山荘山行80周年記念事業費	0	0	0
当期支出合計(C)	35,570,000	36,393,572	29,925,000
当期収支差額(A)-(C)	21,500	627,219	181,500
当期繰越収支差額(B)-(C)	3,051,786	3,657,505	3,839,005

追悼

太陽の人、荒木ラン子先生

43 4 米長 時正



「今日はねえ、とっても感動した本があつたから持つてきちゃった。聴く？」
 そう言つて自分が感動した本があると、いつもそれを感情豊かに私たちに紹介してくれた。嬉しかったなあ。彼女ののおかげですます本が好きになつた。
 国語が大好き、本が大好きで、その気持ちをもつて直ぐに教授してくれていた。心からありがとう。
 あなたに会えて私の人生は明るくなった。
 「前よ、前。いつだって前よ。後ろの出来事は変えられないけど、未来は変えられるのよん。ははは、なんてね、格好いいこと言っちゃった。あはっ。」
 苦しい時にいつも思い出すあなたの言葉、そして笑顔。あなたは太陽のような人でした。忘れません。これから天から私たちを見守っていてください。
 心からご冥福を祈ります。

追悼 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

(敬称略)

卒業回・組		逝去年月	卒業回・組		逝去年月
高田七三五雄	旧職員	平成15. 7	田中 小百合 (河井)	12-エ	18. 1
荒木 ラン子	旧職員	18. 4	仲谷 美代 (重松)	13-ウ	18. 1
田中 綾子 (百田)	《第六》 1-C	18. 1	竹田 スエ	14-ア	17.10
飯島 栄子 (肥田)	1-D	18. 5	入交 昌子 (山崎)	14-ア	18. 4
小倉 ミサホ (渡部)	1-D	18. 1	飯田 恭子 (本橋)	16-ウ	18. 8
斎藤 サダ (中田)	2-A	16. 8	中村 喜代子 (中村)	17-ア	18. 2
畔上 セイ (鈴木)	3-A	18. 1	鬼平 桂子 (鬼平)	17-エ	18. 4
田辺 富美子 (田辺)	3-B	18. 7	近江 素子 (小松)	17-オ	18. 7
朽木 春子 (河原)	4-ウ	18. 4	松井 治子 (田端)	18-ウ	18. 5
佐々木 昭 (佐々木)	5-ア	18. 5	中村 多栄 (吉田)	19-エ	18. 5
青山 千鶴 (関根)	5-ア	17.12	松尾 未子	22-イ	18. 2
沢村 モト (山下)	5-エ	18. 1	羽入田 玲子	23-2	18. 3
西村 春恵 (山本)	5-エ	18. 7	北井 宣子 (鈴木)	23-4	18. 5
原田 梅子 (小西)	7-エ	18. 3	因藤 美代 (平間)	23-4	17
福島 喜久子 (石井)	8-ア	17.12	今内 芙美子 (谷岸)	《三田》 3-6	17.11
松崎 百子 (奥村)	8-ア	18. 2	山寺 佐和子 (倉光)	5-7	18. 7
半澤 譲 (宮下)	8-ウ	18. 5	駒澤 勉	6-4	17. 8
西原 史子 (太田)	8-エ	17. 2	島野 国昭	6-4	18. 3
田中 美穂子	8-エ	18. 2	山岡 千都子 (宮津)	6-7	18. 8
古屋 淑子	9-ア	18. 7	末次 千恵子 (加藤)	8-3	18. 4
清水 ルリ	9-イ	18. 7	隅田 芳江 (村松)	10-2	17. 7
寺本 昭子 (渡辺)	9-イ	18. 7	野中 邦子 (松原)	10-4	18. 1
加藤 祥子 (橋谷)	9-エ	18. 3	小林 明子 (迫)	14-2	17.10
手島 久子 (松本)	10-ア	18. 7	富岡 恵美子 (劉)	17-5	18. 1
依田 幸子 (依田)	10-ア	18. 2	坂川 一雄	18-2	18. 2
笹田 八重子 (根岸)	10-イ	17. 3	松井 昌子 (高田)	18-3	
穴戸 喜美 (穴戸)	10-ウ	18. 4	牧村 美代子 (清水)	21-7	16.10
			三上 裕嗣	30-4	17. 2

OB会連絡先

(ワカバ会まで連絡いただければ、次回より掲載します)

部 名	代表者又は連絡係	卒業回数	〒	住 所	電話番号
アメフト	五十嵐 清	29-3	250-0113	南足柄市岩原658-1	090-8851-6207
三籠会 (バスケ)	山田 一穂	8-3	270-2241	松戸市松戸新田443-25	047-364-7514
ラグビー	内藤 宗夫	25-7	270-1359	印西市木刈2-29-3	0476-46-4195
バドミントン	高木 俊輔	48-3	330-0852	さいたま市大宮区大成町2-241-201	090-9858-4881
弓 道	石井 健一	42-8	239-0842	横須賀市長沢1-1-7	046-848-7144
管弦楽 (室内楽)	水野信一郎	44-6	108-0014	港区芝5-2-7	3453-9062
バレーボール	佐藤 大悟	47-2	144-0055	大田区仲六郷1-24-9-601	3733-1326
水 泳	井上 優子	51-3	144-0044	大田区本羽田1-29-15-401	5735-5280
卓 球	橋本 一夫	19-6	305-0000	つくば市自由が丘430-12	029-876-2101
フォークソング	和田 典也	33-4	108-0074	港区高輪2-1-11-611	5420-7650

New Year Concert のおそそい

日時: 2007年1月21日(日) 14時より
 場所: 都立三田高校 音楽講堂
 出演: メゾソプラノ 桐生郁子(4-1)
 (昭和音楽大学名誉教授)
 ピアノ 金子めぐみ
 (イタリア国立サンタチェチリア音楽院卒)
 テノール 志田雄啓(46-1)
 (2005年日本音楽コンクール声楽部門(オペラ)1位受賞)
 ピアノ 水戸見弥子(48-8)
 (桐朋学園大学卒)

曲目: ブラームス 6つの小品より
 ショパン アンダンテ・スピアナート
 と華麗なる大ポロネーズ
 プッチーニ トゥーランドットより 他
 入場無料

母校のスタインウェイのピアノが再生されたのを機にお披露目コンサートを開催いたします。収容人数の関係で、ご来場希望の方はワカバ会事務局(03-3451-0227)までお問い合わせください。

御寄付御礼

- 三田8回生の皆様から23,653円
 - 第六1-C田中綾子様のご遺族様から10,000円
- 以上のご寄付をいただきました。会の運営の為に使わせていただきます。ありがとうございました。

ワカバ会駐車場

(所在地: 大田区鶴の木3-32-10) お近くにお住まいの方は、ご利用ください。駐車料金等詳しいことはワカバ会事務局までお問い合わせください。

事務局だより

- ◆音楽講堂にあるスタインウェイのピアノは、現在、授業や行事の際に使用されておりますが、学校で使用されていない時には見学、試弾も可能です。ご希望の方は事務局までご連絡ください。
- ◆会報をお送りする度に、その内の200通以上が、転居先不明等の理由で返送されてまいります。一人でも多くの方に同窓会の情報をお伝えするためにも、ご転居の際には、葉書、FAX、電話、メールにて事務局まで新しい連絡先をお知らせください。
- ◆維持会費納入にご協力いただきましてありがとうございます。郵便局では振込可能のATM(自動現金預払機)が増えてきていますので、維持会費納入の際には、ぜひご利用ください。

名簿・宛名ラベル(有料)の 申込方法が変わりました

現在、ワカバ会では同期会、クラス会開催時に、幹事の方へ有料で名簿、宛名ラベルを提供させていただいておりますが、名簿等個人情報に関する悪質な事件が多発している現在、申し込み書により、名簿、宛名ラベルを提供させていただくことになりました。

ご利用の際は、事務局までお問い合わせください。尚、ホームページでもお知らせしておりますので、ぜひご覧ください。

ワカバ会オリジナルグッズ

お申し込みは 電話・FAX・eメール
 (ホームページ)にて、事務局まで

 タオルハンカチ 1枚 350円 3枚 1,000円 5枚 1,500円	 バンダナ 各500円	 モバイルクリーナー 350円	 クリアファイル 各50円
 シャープペン(ブルー) 100円 ボールペン(ピンク・水色) 各100円 シャープペン1 ボールペン2(3本セット 250円)	 ペンケース 600円	 レターセット 各100円 1筆箋 各100円	 ブロンズ シルバー 携帯ストラップ各300円

編集後記

- ◆今回の60号いかがでしたでしょうか? 第六通信を経て、「先輩お元気ですか」のコーナーでは後輩が先輩にインタビューするという形式で実験的に開始いたしました。定着してきた感があります。また、各界で活躍される先輩方が多いのにも毎回驚かされます。年に2回発行という同窓会の広報誌も数少ないのではないかと思います。今後とも三田の輪を繋げるために頑張っていきたいと思いますので、応援よろしくお願いします。(T)